

平成 30 年 2 月 27 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 沖縄県立球陽高等学校 森山 涼子
2. 講師氏名: Dr. Orestes Rivada WHEELAGHAN
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成30年 2 月 21 日 (水) 13:50 ~ 15:10
5. 参加生徒: 2 年生 39 人、 1 年生 1 人、 3 年生 1 人 (合計 41 人)
備考: (例:理数科の生徒) 理数科 2 年生
6. 講演題目: Coordination Chemistry: 105 years changing our world
7. 講演概要:
自国(スペイン)に関する紹介を、動画を交えながら行っていた。また、日本を訪れる前に滞在していたイスラエルについての話もしていた。そして、自身の研究内容である化学分野を身近なもの結びつけながら話し、研究内容の触媒や配位化合物に関する説明を行っていました。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 50 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクターによる講演、実験・実習等はなし
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし 本校英語科職員が補足説明を行った
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
事前に Vocabulary List を生徒に配布
10. その他特筆すべき事項: